



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1 (清水事務所)

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

「日野自動車工場跡地利用を考える会」発足

5月27日、日野自動車工場跡地活用に関する地域住民の声を、日野自動車や日野市に伝え、跡地活用計画に反映していくことを目的とした「日野自動車工場跡地利用を考える会」が発足しました。

今年5月、日野自動車の下社長は「将来的には跡地にラグビーのスタジアムを作りたいという考えを持っている」と述べており、工場跡地がどうなっていくのか、地域住民の関心も高まっています。

発足のつどいでは「日野自動車本社工場の移転問題を考える市民の会」代表の松尾文彦弁護士が「日野自動車は2020年までに工場部分を移転し、日野には本社と研究部門だけが残る。すでに日野工場の社員は1000人に半減した。日野自動車本社工場の敷地43万㎡のうち工場部分は30万㎡。日野のまちづくりに大きく影響する」と話しました。

跡地活用計画は、計画づくりの段階から市民参加で

また、清水とし子市議は、「工場跡地にラグビースタジアムを作る場合、まちづくり条例に則って市民への説明等の手続きが必要になる。しかし、その期間は数か月から1年程度で、市民の意見を反映するには短すぎる。跡地の工事着手にはまだ数年かかり、時間はある。跡地活用計画をつくる段

階から日野自動車と情報を交流し、住民の意見・要望を出し合っていくことが必要」と話しました。



参加者からも次々と意見・要望

参加者からは、「住民には情報がない。日野自動車や日野市から話を聞く場を持った方が良い」「日野台には公共施設などが足りない」「まずは住環境を守ること」「スタジアムは賛成だが、それを造っても広大な土

地がまだ残る」など意見が出されました。

その後、「日野自動車工場跡地利用に住民の要望を反映させるために活動します」などの申し合わせを確認し、代表に村松輝夫さん（日野台2丁目）を選出しました。

横田基地のオスプレイ 陸揚げ後2か月で緊急着陸！

6月4日、横田基地に滞在中のCV-22オスプレイ2機が、奄美空港（鹿児島県）に緊急着陸しました。

緊急着陸したオスプレイは、この夏に横田基地に配備される予定の5機うちの2機です。4月に日本に陸揚げされたのち、海外での訓練を行うため日本を離れ、5月29日に再び横田基地に飛来していました。

小野寺防衛相は、CV22のうち1機に何らかのトラブルがあったため、同空港に着陸したこと、詳細については確認中と会見で述べています。

日本陸揚げ後わずか2か月でトラブルを起こしたCV-22オスプレイ、横田基地への配備も、日野市上空の飛来も許されません。

政府は横田基地配備前倒しも、飛来も隠蔽

5月29日に横田基地にCV-22オスプレイが飛来することを、日本政府は事前に米軍から聞いていたにもかかわらず、米軍から事前公表を控えるよう要請を受け、

周辺の自治体に知らせていませんでした。

政府は、横田基地配備が前倒しになった時も事前に知りながら、陸揚げ当日までその情報を隠していました。

学習会 日野の上空がますます危ない！

～CV22オスプレイの配備と横田基地の強化が進む～

日時 6月16日（土） 午後2時～4時

場所 発達・教育センター エール 旭が丘児童館の隣

講師 小柴 康男 さん 昭島9条の会 資料代 500円

主催「オスプレイの危険と配備を考える日野懇談会」

本の紹介

第一回広島平和音楽祭で美空ひばりが歌った「一本の鉛筆」。亡くなる前年にも、体調が悪化するなか、15年ぶりに広島平和音楽祭でこの歌を歌っています。反戦歌にこめられた美空ひばりの思いとは。

世界で歌い継がれる反戦歌にまつわるエピソードをつづった本を、旭が丘在住の音楽ジャーナリスト竹村淳さんが出版されました。

日本を戦争する国に変えようという動きが強まる今こそ、多くの方に読んでいただきたい本です。

「反戦歌 戦争に立ち向かった歌たち」

竹村淳著／アルファベータブックス発行
2,000円（税別）

清水事務所（☎582-1042）でもお取り寄せできます。

